

ドーン財団

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

〒530-0043

大阪市北区天満1丁目5番2号 トリシマオフィスワンビル803号室

TEL 06-7494-3005

FAX 06-7494-3006

URL <https://www.dawn-ogef.jp>



愛称「ドーン財団」について

財団がドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)を拠点に活動してきたことにちなむ愛称。ドーンセンターとともに、ドーンと進んでいこう、という思いを込め、設立20周年を記念して平成26(2014)年度に決めました。ドーンセンターは、平成6(1994)年の開館時に大阪府の公募によって選ばれた愛称で、「夜明け」や「物事の始まり」を意味する英語 DAWNと、大阪の女性たちの「ドーンと行こう」という心意気を表しています。

女性活躍推進に向けた取組(事業者登録・認証等)

■大阪府男女いきいき・元気宣言事業者登録(平成22年1月13日)



ドーン財団では、当財団の活動にご賛同いただいた皆様の想いや、社会貢献への想いを寄附金として広く受け付けております。

賛助会

当財団の活動主旨に賛同し、共に歩んでくださるみなさまの入会をお待ちしています。賛助会員のみなさまには、当財団が実施している事業のご案内をお届けします。

賛助会員年会費

個人会費	一口	3,000円
団体会費 企業等	一口	10,000円
非営利団体	一口	5,000円
特別会員	一口	100,000円



はなみずき募金

事業趣旨に賛同くださいました団体や企業、個人の皆様からの寄附をお受けしています。お寄せいただいた寄附金は、事業の運営に活用します。賛助会費とは違い、期間などは設けていません。どなたでも500円から受け付けています。

遺贈

財団の趣旨にご賛同いただき、ご自身の財産を男女共同参画社会の推進のために役立てたいという、社会貢献の想いを寄附として受けています。ご寄附については財団寄付金取扱規程に基づき適切に運用させていただきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS (SDGs) : 持続可能な開発目標は、2015年の国連サミットで採択された、2030年までの17の国際社会共通目標です。ドーン財団は、ジェンダー平等を実現するため、パートナーシップを大切に取組みます。

D 30th
ドーン財団 ANNIVERSARY

DAWN

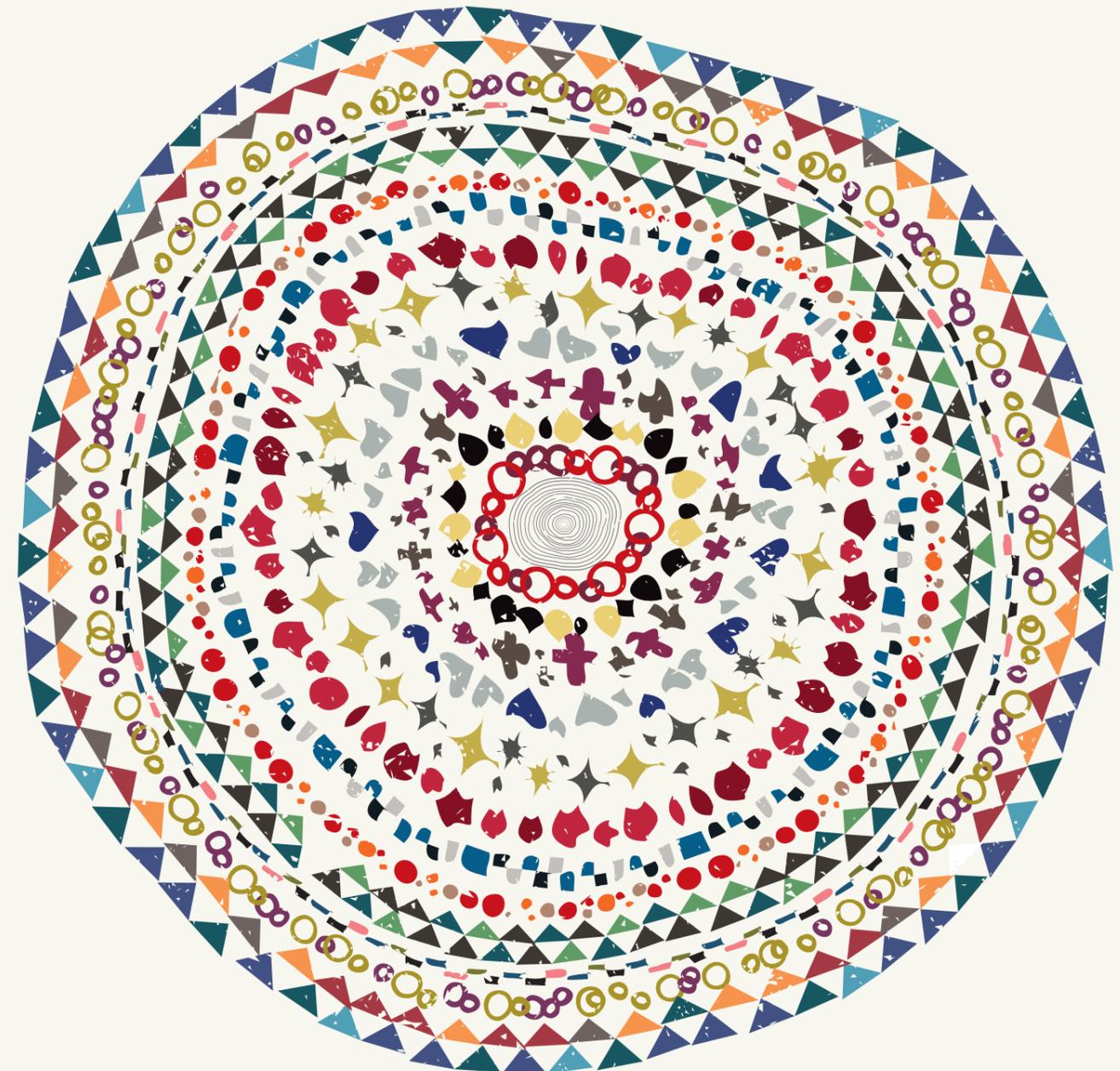
ドーン財団

一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団

Osaka Gender Equality Foundation

Since 1994

行政、民間、地域、人をつなぎ、男女が対等な立場であらゆる分野に参加・参画できる社会づくりをめざす団体です。



一つひとつの年を積み重ね、広がっていく年輪のように多様性を尊重しながら、一步一步確実に広がりをもせる男女共同参画社会の輪を表現しています。

男女共同参画社会の実現に向けてわたしたちはチャレンジを続けます!

ドーン財団

基本理念・目的

「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加・参画することができる社会の創造」を基本理念とし、社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための専門的で総合的な支援機能を果たしていくことを財団運営の目的としています。

運営方針 — 3つのC —

Continue 継続のC

20世紀に起こった女性の社会参加・参画への理念・熱意、ジェンダー格差是正のための意識改革、女性のエンパワメントの意欲などを継承します。

Collaborate 協働のC

国や自治体、企業、NPO等の社会活動団体、教育機関などと「協働」の取り組みを新しい分野に広がります。

Change 変革のC

日常生活の中へも意識改革を進め、男女共同参画社会づくりの課題となる慣行や制度を変革する事業を展開します。

沿革

- 平成6(1994)年
4月 財団法人大阪府男女協働社会づくり財団設立
11月 ドーンセンターの施設管理、事業運営を開始
- 平成15(2003)年
4月 財団法人大阪府男女共同参画推進財団に名称変更
- 平成18(2006)年
4月 ドーンセンター指定管理業務開始(代表団体)
- 平成22(2010)年
4月 行財政改革により大阪府からの支援のない財団として自立
- 平成23(2011)年
4月 ドーンセンターの指定管理業務
4月 東大阪市立男女共同参画センター(イコーラム)指定管理業務開始
- 平成24(2012)年
4月 法人制度改革に伴い一般財団法人に移行
- 平成26(2014)年
4月 東大阪市立男女共同参画センター(イコーラム)指定管理業務(2期目)
10月 財団の愛称を「ドーン財団」と発表
- 平成28(2016)年
4月 財団事務所移転 ドーンセンター指定管理業務(代表団体)
- 令和元(2019)年
4月 東大阪市立男女共同参画センター(イコーラム)指定管理業務(3期目)
- 令和2(2020)年
8月 和泉市男女共同参画啓発業務開始
- 令和3(2021)年
4月 ドーンセンター指定管理業務(情報ライブラリー運営)
- 令和5(2023)年
4月 財団事務所移転
- 令和6(2024)年
3月 東大阪市立男女共同参画センター(イコーラム)指定管理業務終了

ドーン財団役員

- | | |
|-----------|---|
| 評議員 | 上田理恵子 株式会社マザーネット代表取締役 |
| | 熊和子 元毎日放送ラジオ局長 |
| | 黒瀬友佳子 帝人株式会社 サステナビリティ推進部企画倫理・コンプライアンスグループマネージャー |
| | 高瀬久美子 弁護士 |
| | 高田昌代 神戸市看護大学教授 |
| | 時岡禎一郎 学校法人大阪女学院監事 |
| | 林紀美代 公認会計士 |
| 代表理事(理事長) | 畑律江 毎日新聞客員編集委員 |
| 理事 | 伊田久美子 大阪府立大学名誉教授、認定NPO法人ウイメンズアクションネットワーク副理事長 |
| | 大垣敬子 元(一財)大阪府男女共同参画推進財団職員 |
| | 金光哲司 (一財)大阪府男女共同参画推進財団 事務局長 |
| | 太平信恵 弁護士 |
| | 仁科あゆ美 (一財)大阪府男女共同参画推進財団 本部長 |
| | 早瀬昇 社会福祉法人 大阪ボランティア協会 理事長 |
| | 弘本由香里 大阪ガスネットワーク株式会社エネルギー・文化研究所 特任研究員 |
| | 焼野嘉津人 (一財)青少年国際交流推進センター理事 |
| 監事 | 谷口悦子 公認会計士 |
| | 中島ふみ 弁護士 |
- ※50音順 令和6(2024)年7月現在

令和5(2023)年度の主な事業

受けとめ・寄り添う

- こころ、からだ、性に関する悩み、配偶者・パートナーからの暴力等、日常の様々な問題に関する相談・カウンセリング(受託事業)
- 大阪府男女共同参画推進のための相談事業:女性のための相談事業(電話相談、面接相談、SNS相談、法律相談、サポート・グループ)/男性のための電話相談/市町村相談事業への支援/若年層におけるジェンダー課題の研究 他
 - おおさか性と健康の相談センター事業 電話相談/面接相談/サポート・グループ/講座・セミナー
 - 大阪府「相談会」における女性相談業務
 - 大阪府「女性のためのコミュニティスペース」運営事業(自主事業)
 - シングルマザー(プレシングルマザー)及び非正規職で働くシングル女性のためのグループ相談会

支え・応援する

- すべての女性が、自分の人生を主体的に選択し、自立できるように応援(自主事業)
- シングルマザーのためのはなみずきセミナー
 - シングルマザーの応援フェスタ2023 同じ立場の人が交流、情報交換し、リラックスできる1日を提供

未来を育てる

- 次世代の育成と共同参画社会へ向けた自立のために
- (自主事業)
- 女子高生のためのサマースクール「ガールアップセミナー 2023」
- (受託事業)
- 大阪女学院大学・短期大学(講師派遣事業)
 - 龍谷大学/同志社大学/大阪府立長尾高等学校/大阪府立枚方高等学校/大阪府立藤井寺高等学校/大阪府立箕面高等学校/関西大学第一高等学校/大阪成蹊女子高等学校/関西大学北陽中学校/岸和田市立土生中学校、桜台中学校、北中学校、光陽中学校、岸城中学校、高石市立高南中学校

2010年に大阪府から独立し、活動の幅を広げました。これまでに培った幅広いネットワークで行政、民間、地域、人をつなぎ、誰もが自分らしい人生を選択し、互いに尊重し合える社会を目指します。

地域における男女共同参画の推進

- | | |
|--|---|
| (指定管理事業) | ●和泉市男女共同参画啓発業務 |
| ●東大阪市立男女共同参画センター(イコーラム) | (講座・研修コーディネート事業) |
| (自主事業) | ●地方自治体:大阪府/池田市/田辺市(和歌山県)/伊賀市(三重県) |
| ●フェミニストカウンセリング専門講座、女性支援のためのグループファシリテーター養成講座 | (講師派遣事業) |
| (受託事業) | ●地方自治体、団体等:(独)国立女性教育会館/日本助産師会/NPO法人男女共同参画フォーラムしずおか/(一社)大阪労働者福祉協議会/認定NPO法人日本NPOセンター/大阪府生活協同組合連合会/(公財)松山市男女共同参画推進財団 |
| ●国:性犯罪・性暴力被害者のための夜間・休日相談支援体制整備事業(内閣府)/性犯罪被害者等支援体制整備のための研修等運営並びに性犯罪・性暴力及び配偶者暴力被害者支援、若年層の性暴力被害予防啓発のためのオンライン研修教材作成業務(内閣府) | (共催事業) |
| ●大学:DVと子ども虐待が併存するケースにおける子ども福祉実践-Safe & Together モデルから学ぶ-(日本福祉大学) | ●(公財)大阪府市町村振興協会 |

ドーン財団は、積み重ねた長年のノウハウとネットワークを活かし、多様なプログラムをご希望に応じて企画から実施までコーディネートします。

財団の活動実績

- 委員・嘱等 「女性関連施設相談員研修」企画委員((独)国立女性教育会館)/有園博子基金企画委員・選考委員((公財)ひょうごコミュニティ財団)/門真市男女共同参画審議会委員/ウイズあかし運営委員((一財)明石コミュニティ創造協会)
- 会 員 等 専門図書館協議会関西地区連絡会委員(専門図書館協議会)/OSAKA女性活躍推進会議